



2003年2月10日
ニュースリリース

春の消費者キャンペーン情報

世界 No. 1 ブランドー ジレット 「トライアル キャンペーン」

－ 本数限定 & 特別価格で、今春3月3日より開始 －

◇… ジレット ジャパン インク【本社： 横浜市西区みなとみらい 社長 ディットマー・フ
ィアブーヘン】は、ジレット替刃式高級システムホルダー<3製品>を対象に、特別
「体験価格」の限定パックを企画。今春3月3日より、“世界No.1 ブランドー ジレ
ット” 「トライアル キャンペーン」を全国的に実施します。（但し、同キャンペーン
は、在庫がなくなり次第終了とさせていただきます。）

◇… 通常価格を大幅に引き下げた特別パックを対象にした同キャンペーンは、ジレット
ユーザーへの日頃のご愛顧に対する感謝の意を込めて、また、より多くの方にジレ
ットの最高の剃り味をお試しいただく機会となることを願って企画されました。

一般消費財の技術開発費としては過去最大の7億5千万ドルを投入し、従来のかみそ
りの技術の壁を打ち破り、比類ない剃り性能を実現した3枚刃「ジレット マッハシ
ンスリー」（1999年日本発売）、そしてさらにカミソリとしては初めての逆剃り
機能を打ち出した「ジレット マッハシンスリー ターボ」（昨年3月発売）を導入。こ
のほか長年のロングセラーとして定着している、独立サスペンションとマイクロフィ
ンを搭載した2枚刃「ジレット センサーエクセル」（1994年発売）――。



1901年、キング・キャンプ・ジレットが世界初替刃式T字型かみそりをこの世に送り出して以来、一世紀に亘り間断なく進化し続け、今日、<ジレット>は高品質・高性能かみそりのパイオニアとして世界のリーディングブランドの役割を担ってきました。

◆…《世界 No. 1 ブランドージレット 剃ればわかる！！世界品質を、今だけの『体験価格』で》をスローガンの製品ステッカー、店頭ディスプレイをぜひお見逃しなく。

◆…対象製品と特別体験価格は、以下の通りです。

製品	替刃	型番	体験価格
マツハシンスリー ターボ	2コ	M3T-R	¥600
マツハシンスリー	2コ	GM3-R2	¥450
センサー エクセル	2コ	SEL-R	¥350

◇…キャンペーン製品の主な取扱店は、全国のドラッグストア、コンビニ、スーパーマーケットなどです。

◎この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

ジレット ジャパン インク
マーケティング本部 広報
吉原 雅子 / 眞下 幸恵
masako_yoshihara@gillette.com
sachie_mashimo@gillette.com
TEL 045-680-3737 / 3738
FAX 3817



ジレット： カミソリの歴史

1885 - 2003

- 1885 当時 40 才だったアメリカ人セールスマン、キング キャンプ ジレット (King Camp Gillette) は、切れ味の悪い西洋カミソリにイライラしていました。切れ味の良い、安全なカミソリはないものかと、鏡の前で思案に考えている時、ある朝一、突然アイデアがひらめき、自らその開発に取り組みました。そして彼は、すぐさま真鍮、時計スプリング材、万力、ヤスリなどを金物屋から取り寄せ、カミソリのスケッチを作成しました。
- 1901 最大の問題は、薄いハガネで焼きを入れても曲がらない材料を探すことでした。6 年間、コツコツと刃の焼き入れについて研究を続け、ついにその問題を解決。その時期と前後して、ジレットの発明に共鳴した機械技師、ウィリアム E ニカーソンと共同で、「アメリカン セーフティ レザー カンパニー」(資本金 5 千ドル)を設立。(翌年、社名は「ジレット セーフティ レザー カンパニー」に改名) 12 月 3 日、特許を申請。
- 1903 ポストン、アトランティック街にある魚市場の 2 階の小さなオフィスで、世界で初めての T 字型替刃式安全カミソリを製造し、販売を開始しました。この年の売り上げは、51 個のホルダーと 168 枚のブレードでした。
- 1904 11 月 15 日、ジレットの T 字型カミソリは、正式に米国の特許を取得し、1905 年の終わりには 25 万個のレザーセットと 10 万個の刃のパック (12 枚入り) を売り上げ、次第に軌道にのり始めました。当時の製品には、ジレット本人の顔が描かれ、「切れ味の良い=安全なカミソリを多くの人に知ってもらいたい!」というジレット自身のメッセージが込められていました。
- 1916 刃のパックを年間 700 万個生産する企業に成長し、ジレットの夢は着実に実現していきました。
- 1918 第一次大戦中、米国政府は、何百万人も兵士のために、ジレット社に 350 万個のレザーセットと 3、600 万枚の刃を発注し、ポストンの工場はその生産に追われました。安全カミソリを知らなかった兵士たちは、その便利さに驚くと共に、それまで床屋でヒゲ剃りをしていた男たちは自分で剃るという習慣を身につけるようになりました。そして、戦場から家庭に戻った後もこの習慣は続き、全米にジレット製品が一挙に広がり、毎日のヒゲ剃りの習慣が定着し始めました。
- 1931 キング キャンプ ジレット、77 才で死去した後、同社会長に Henry J Gaisman が就任。



- 1932 当時、鋼（スチール）を1枚1枚カットし、それを硬質化して研ぎ、そして包装するという作業によって生じる製品の不均質という課題を抱えていました。一枚の長い鋼をそのまま硬化してから研磨し、それを1枚1枚にカットしていくという革新的な工程を導入することにより、製品の質は大きく向上しました。この製法第一号の「ブルーブレード (Blue Blade)」を発売。（この年、従来グリーンだったジレットカラーを、ブルーに一新）「ブルーブレード」は、米国のみならず世界中で愛用されるようになりました。
- 1938 さらに刃厚を薄くした「シンブレード (Thin Blade)」を発売
- 1946 ホルダー本体に直接刃を挿入する、世界初のディスペンサーシステム「ブルーブレード ディスペンサー」を発売
- 1957 ヒゲの濃さに合わせて刃の調節が3段階にできる「アジャスタブルホルダー」を発売
- 1960 シリコンコーティングを応用した「スーパーブルーブレード」と名付けられた刃は、安全カミソリ発明以来の画期的な技術といわれ、これにより剃り味、安全性、快適性が飛躍的に向上...ジレットは、高い技術力を証明し続けます。
- 1963 ステンレススチール製「スーパーステンレス」を発売
- 1969 腐食を防止するプラチナクロムコーティング刃を発売
- 1971 世界初の2枚刃システム「GII (Trac II)」を導入。主流は1枚刃から2枚刃に移行。(以降、ジレットは、9年連続全米市場の替え刃売上げNO.1を記録する)
- 1976 世界初のディスポーザブル(使い捨て)「ブルーII (Good News)」を発売
- 1977 肌の曲面に対して常に理想のシェービングアングルを保ち、さらに快適な剃り味を提供する、世界初の首振り式2枚刃システム「アクタス (Atra)」を発売。この年のベストセラーに。
- 1985 1980年代の画期的発明はスムーサー(潤滑帯)——水に溶けると潤滑剤の働きをするもので、「滑らかな剃り心地」を実現しました。世界初のスムーサー付き「アクタスプラス」を発売
- 1986 スムーサー付きディスポーザブル「ブルーIIプラス」を発売



- 1990 1枚1枚の刃が顔の微妙な曲線や肌の凹凸を感知（センサー）し、最適なポジションと圧力に調節される独立サスペンション付き「センサー」が登場。‘最高のシェービングシステム’と賞賛をもって迎えられました。
- 1992 女性用システム「レディー センサー」を発売（日本は1994年導入）
- 1994 さらに深剃りと快適さを求めた「センサー エクセル」発売。マイクロフィン（超小型のヒレ）が、肌を優しく伸ばし、ヒゲを立たせ剃りやすくする働きをします。‘センサーを超えたセンサー’として、米国「Consumer Report」誌上テストで最高点を獲得。
- 1995 マイクロフィンとラバーグリップ付き女性用システム「レディーセンサー エクセル」発売。（日本は1996年導入）
- 1998 一般消費財の技術開発費としては、過去最大の7億5千万ドルを投入し、従来のカミソリの技術の壁を打ち破り、かつて誰もが経験したことのない剃り性能を実現した--3枚刃システム「マッサシンスリー（Mach3）」新登場。「G II」以来28年振りの‘カミソリの革命’とまで賞されました。（日本は1999年3月導入）
- 2001 業界初<シャワーセーフ入り替え刃>搭載、女性用3枚刃システム「ジレット ヴィーナス」誕生。女性用システム市場を大きく飛躍させました。（対1999年 2002年度推定 約2.3倍 弊社調べ）
- 2002 「マッサシンスリー」をさらに進化させた、逆剃りを可能にした次世代深剃り3枚刃『マッサシンスリー ターボ（Mach3 Turbo）』が新たに登場。（3月11日発売開始）
- | |
|---|
| 2003 3月上旬より、男性用システムホルダーを対象に、全国規模の消費者キャンペーン『体験価格キャンペーン』を積極的に実施します。 |
|---|